

岩手モリヤ株式会社

岩手県久慈市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

人材育成と機械化の両立による高い技術力で「メイド・イン・ジャパン」にこだわった婦人服づくり

- 縫い代のない突合せ縫製により縫製技術の高度化と商品の高付加価値化を追求
- lot と AI 導入による縫製前工程の効率化と延反・裁断計画の最適化を実現
- 地域の縫製事業者による連携組織の設立に貢献し、会員企業による各種販売促進活動・人材育成を推進

企業基本情報

所在地	岩手県久慈市夏井町大崎 13-3-3
電話/FAX	0194-53-5327/0194-52-3034
URL	http://www.ginga.or.jp/iwatemoriya/
代表者	代表取締役社長 森奥 信孝
設立	1988年
資本金	1,200万円
従業員数	93人



会社概要

婦人用のジャケット・スーツ・ウールコートなどの高級既製服を製造している。常に「メイドインジャパン」を意識した高品質・高付加価値のものづくりを実践し、そのための高度な縫製技術教育により全社員の3分の1が国家検定である「洋裁技能士」の資格を取得。また、生地織り・編み・縫製加工まで、全てを国内で行われていることを証明する「J∞クオリティー」認証を取得している。

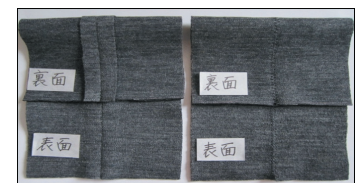


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

技術の高度化と製品の高付加価値化を追求

受注型縫製から提案型縫製企業への転換を図るため、既存の縫製技術とは全く異なる「突合せ縫製」ラインを構築。突合せ縫製とは、生地同士を直接縫い合わせることで通常洋服にある縫い代が不要となる技術である。本技術開発により、これまでの服に無いより良い着心地の実現と製品の高付加価値化に成功。また、縫い代が無いために原材料削減も達成、オリジナル商品制作や各種展示会への出品など営業展開を図っている。

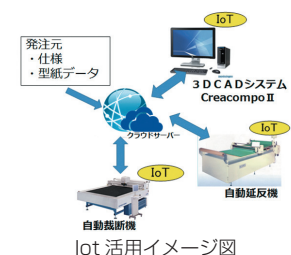


突合せ縫製と通常縫製の違い
(右：突合せ縫製 左：通常縫製)

lot と AI 導入による効率化と延反・裁断計画の最適化

縫製に必要なパターンデータを3DCADで作成し、それをlot活用により高速自動延反機・高速自動裁断機と結び、かつこれまで手作業で行っていた各工程の指示・監視・分析をAI導入により統合的に管理。

これらの縫製投入前作業の革新的システムの構築により、一連の工程を限りなく自動化したことで、作業時間の短縮と歩留まり率の向上の達成につながり生産性向上に成功している。



lot活用イメージ図

地域の事業者による法人を設立し、各種販売促進活動を推進

2015年に岩手県北地域の縫製業者が集い設立した「一般社団法人北いわてアパレル産業振興会」のメンバーとなり、同社の代表である森奥氏が本法人の代表理事を務めている。

同社団法人では、地域ブランド「北いわてメイド」による独自商品開発や、メンバー企業の女性従業員による「北いわて仕立て屋女子会」の発足及び産学官連携によるファッションショーの開催など、縫製業者の集積地である当地域での様々な競争力向上等の連携した取組が地域経済の活性化につながっている。



北いわて仕立て屋女子会